

俳優はもちろん、バンド活動、イラストなど、マルチな才能の持ち主である浅野忠信さん。好きな言葉はなんと、「横浜」。そのくらい、大のヨコハマ好き。「これからは仕事に縛られず、のんびりやっていきたい」と語った浅野さんだが、さらに進化しそうな気配…。そのカッコいい生き方から目が離せない。

■「横浜」は先駆者であれ!

南区で生まれ、中学2年生から栄区東上郷で育ちました。自然がいっぱいあって、釣りに行ったりとか、探検したりとか、面白いところがたくさんありましたね。今、瀬上市民の森を再開する話があるようですが、断固反対です。駅を森に変えるとか、各都市で自然を守ろうとする動きが出てきている中で、まったく時代遅れなことを始めないでくれ、と言いたい。横浜のように、皆からずっと愛され、進化を続ける街が、率先して美しい自然を守れば、ほかのエリアもついていくと思うんです。森は守られる、と僕は信じています。

横浜には今でもしょっちゅう来ています。部屋を借りたくらい。本牧とか中華街とかも好きですが、やっぱり落ち着くのは南区。住んでいた別所や弘明寺の辺りは、何も無いんだけど落ち着きますね。

■母の影響、父の言葉

母親が古着好きで、本牧の米軍ハウスの中にあるスリフトショップ(不用品を売る店)に行ったら、古着をたくさん買っていました。狭いところに洋服がいっぱいあって、その中から一生懸命選んで、幼稚園の頃、よく連れて行かれました。僕が小学生になると、母は石川町に古着屋を開き、大通公園のフリーマーケットにもよく出店していました。そんな母の影響で、嫌でも古着の魅力に目覚めさせられました。

中学生になると、世の中はバンドブーム。テレビ番組の『イカ天(イカすバンド天国)』が流行っていた頃です。目立ちたがり屋の僕はバンドを結成しました。ちょうどその頃「金八先生のオーディションがあるけど受けてみる?」と当時マネージャーの仕事をしていた父に言われて、「受けたかった

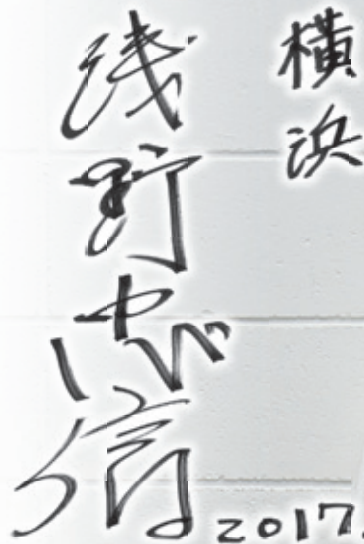
い」って。オーディションの時に「横浜スタジオでスカウトされた、って言いなさい」と父からアドバイスされた通り、堂々と答えたら見事合格(笑)。そのあとすぐ映画『バタアシ金魚』のオーディションがあり、この原作の漫画が大好きだったので「これは俺がやらなくて誰がやるの」と。主役ではありませんでしたが合格しました。

でも実際に現場で仕事を始めると、撮影が大変でいやになってしまい、バンドのほうがいい。父と喧嘩しながら続けていました。18歳くらいの時、「やりたくない」と正直に話しましたが、「やれ」と一言。その時、俳優を続ける決意をしました。苦しみもありましたが、やるって決めたことだから、今に至っています。

■「演ずる」こと

役作りには本を読むことが一番。「浅野君はバカなんだから死ぬほど本を読みなさい」と相米慎二監督に教わりました。それからは、わからないながらも本を読むようにしました。台本は繰り返し、最初から最後まで読みます。全部読んで、僕が出ていないシーンを読み返した時に初めて僕のシーンとのつながりが見えてくることもあります。

今度公開する映画『幼な子われらに生まれ』は、重松清さんの小説。オファーが来た時、台本を読んで「わあ、面白い。これやる」と。主人公・信はバツイチで再婚。一見良きパパを装いながらも、実際は妻の連れ子とうまくいかず、悶々とした日々を過ごすサラリーマン。「なんでこうなんだろう信は」って読んでいくうちに、いろんなことが見えてくる。「こんなこと言わなければいいのに」というセリフがどのシーンにもあり、一生懸命家族に順応しようとするのに何も変わらない、という面白さ。成長しようとしている奴が変わらなくて、家族が成長する図式が面白い話だと思いました。



俳優
浅野 忠信氏
Tadanobu Asano

1973年、横浜南区生まれ。1990年『バタアシ金魚』でスクリーンデビュー。2007年『モンゴル』でチングス・ハーン役を主演。2008年米アカデミー賞外国語映画賞にノミネートされた。2011年『マイティ・ソー』でハリウッドデビュー。2014年、主演作『私の男』で第36回モスクワ国際映画祭最優秀男優賞を受賞。2015年に主演作『崖辺の旅』が、また2016年に主演作『淵に立つ』がカンヌ国際映画祭「ある視点」部門に出品され、それぞれ監督賞、審査員賞を受賞した。

僕は、信のような人間は「ぶっ飛ばしてやりたい(笑)」ですが、演じるのが難しいという受け止め方はしませんでした。信の行動は理解できない部分もあるけれど、演じていて「素」が出てしまったシーンもあります。映画やドラマを観ていて、自分と同じようなシチュエーションを迎えたシーンで、俳優さんが同じような反応で演じた時にとてつもなく恥ずかしくなるのと同じで、僕の演技を観ている人にもそう感じてほしい。そういう役をやりたいですし、僕が知っている何かを出してみたい、と思うのです。

家族は僕が出演する映画に素直に反応してくれます。今回の映画はどうだろう?「あの場面はパパのままだね」って言われるかもしれません(笑)。ハリウッド映画に出演した時は現場まで会いに来てくれました。娘(SUMIRE)と息子(HIMI)は芸能の仕事を始め

ています。僕ができることは協力したい。家族にとって、よき理解者でありたいし、そう思われているんじゃないかな。

■「横浜」の男

僕は本当に横浜で生まれ育っているのだから、今でも大好きですし、自分は横浜の人間だって、ずっと思っています。先日も横浜でライブをやったばかりです。もっと横浜の人に応援してほしいな。クレイジーケンバンドか、浅野忠信か。マイティ・クラウンか、浅野忠信か、っていう感じで(笑)。

『幼な子われらに生まれ』
8月26日(土)、TOHOシネマズららぽーと横浜、シネマジック&ベティほか
全国ロードショー
配給:ファントム・フィルム
©2016「幼な子われらに生まれ」製作委員会

レコードプレーヤー スピーカー アンプ など
使わないオーディオをお持ちの方へ
顧客満足を目指すプロのスタッフが、無料で出張査定&買取いたします。査定額にご納得いただけましたら、その場で現金にてお支払いいたします。

この機会に
使わないオーディオをプロに任せて
整理してみませんか?

選べる3つの買取方法 無料出張 店舗 宅配 実施中!

高価買取

出張&査定 無料!! 完全予約制!!
出張買取等で店舗にスタッフが不在の場合があります。事前にお問合せください。

品川店オープン
キャンペーン!
お電話で「ヨコハマよみうりを見た」とお伝えください。※2017年8月31日まで
通常買取価格より
13%アップ!!

AudioSound
0120(905)471
受付時間/9時~20時30分

オーディオ買取専門店
オーディオサウンド

■横浜店: 神奈川県横浜市保土ヶ谷区天王町1-22-12
■川崎店: 神奈川県川崎市幸区南加瀬1-17-45
■横須賀店: 神奈川県横須賀市上町3-10
■品川店: 東京都品川区南大井4-19-15
※一部出張できないエリアもあります

運営部「サイクルマスター」
(古物商許可番号)
神奈川県公安委員会
第451350005747号
東京都公安委員会
第305590806398号

問合せ番号
え 1711